

令和7年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通 算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
1	ふじた みわ 藤田 美和	63歳	36年1月 (28年1月)	母と子の家 藤田助産院 (宮崎市)	県立宮崎病院産婦人科病棟、NICU等で経験を積んだ後、平成10年に母と子の家藤田助産院を開業（産後入院60件）し、地域で母子支援に心血を注ぎ現在に至る。 宮崎市母子相談員、宮崎県女性専門相談センター「スマイル」相談員、宮日母子福祉事業団、綾町母子相談員、国富町妊産婦乳児相談の嘱託等、母子保健事業分野で地域に貢献をしている。 また、一次施設として分娩介助を行い、760件もの分娩に携わり、産後の母親の乳房ケアまで丁寧な実践により母子の拠り所となっている。 その他にもワン＆オンリー宮崎いのちの会設立当初から相談役として思いがけない妊娠女性の出産支援を行うとともに、宮崎県助産師会の活動として、無料相談開設や性教育、多胎児サークル等様々な事業立ち上げに貢献している。 さらに宮崎大学大学院看護学科助産学専攻課程やその他看護師養成所での非常勤講師として後進の育成にも尽力し、本県の母子保健、周産期看護への功績は大きい。
2	たなか しげこ 田中 茂子	71歳	48年1月 (5年8月)	医療法人春光会 春光会記念病院 (日南市)	昭和55年に宮崎県に入職。県立日南病院の看護師長を務めた。 看護協会では、医療安全推進委員会の立ち上げに関わり、委員として、自施設のみならず、医療安全に対する知識、技術の普及、医療安全管理者の交流に努め、県内の医療機関の医療安全対策の推進に寄与した。 令和元年9月から医療法人春光会春光会記念病院で看護管理を担い、現在も看護部長として、自らも看護実践するとともに、准看護師の看護師資格取得の促進等の人材育成、看護の質向上、外国人看護補助者の採用など働きやすい環境づくりに努め、看護業務改善に尽力している。 また、地域の透析施設閉院に伴い、自施設で患者を受け入れるために、患者増に備えた院内の体制づくりや、職員教育を行うなど地域に貢献し、その功績は大きい。

令和7年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通 算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
3	くろき ちかこ 黒木 千賀子	70歳	41年8月 (2年8月)	公益社団法人宮崎県看護協会 (宮崎市)	昭和52年に宮崎県に入職し、平成23年から5年間、県立宮崎病院看護部長を務めた。県立病院勤務においては看護職員の研修企画・運営、キャリア開発ラダーの刷新、看護体制再編、夜間救急看護体制の確立等、看護業務改善と現任教育に尽力した。また、看護補助者定員増員や看護部のホームページ刷新等の実績を残した。 宮崎県を退職後は特定医療法人健寿会黒木病院の看護部長に就任し、民間病院における看護体制再編や夜勤救急看護体制の確立等業務改善、現任教育に尽力した。 平成29年6月から宮崎県看護協会の監事として、宮崎県看護協会の運営等に助言するとともに協会事業の詳細についてもこれまでの経験や知識を基に助言・指導を行い、協会が実施する資質の向上や看護職支援等の充実に多大に寄与しており、宮崎県の看護に大きく貢献し、その功績は大きい。
4	ふじさわ とよこ 藤澤 豊子	69歳	45年0月 (33年2月)	宮崎医療福祉専門学校 (西都市)	医療機関での看護師経験を経た後、平成5年4月に宮崎医療福祉専門学校看護科に着任し、准看護師の養成のみであった同校の看護科（2年課程）の新設や平成15年4月に看護師養成3年課程への課程変更に尽力した。 また、高齢社会に向けて、地域で活躍する看護師を育成するために、早い段階から、教科目に“地域福祉特論”などを設け、カリキュラム構築を行い、医療・福祉・看護の融合教育を行い、看護教育の充実に貢献してきた。現在も副校長として看護教育現場で活躍している。 さらに、令和6年に宮崎医療福祉専門学校が西都市社会福祉協議会と災害時における協力体制に関する協定を締結したことを受け、災害発生前から多職種・多施設と連携し、ボランティア受け入れ準備から避難所生活の支援まで学び、災害発生時に地域で活躍できる看護師の育成も始めるなど看護師の育成における功績は大きい。

令和7年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通 算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
5	たけだ えいこ 竹田 栄子	66歳	43年8月 (43年8月)	医療法人社団育生会 井上病院 (延岡市)	産婦人科病院の管理者として看護業務及び地域活動に取り組み、現在は医療機関に連携室室長として、さらなる地域医療の充実と後進の指導、看護職の活躍のために貢献している。 主な功績としては、平成22年に県北の周産期医療の充実のために、宮崎県県北周産期ひむか会（産婦人科施設会）の立ち上げに関わり、虐待予防や不妊治療研修を開催するなど周産期のみならず、母子保健の推進も尽力した。 県事業の不妊専門相談への看護師の派遣や看護協会の出前事業の講師、県北地域の保育園、小中学校での性教育・人間教育等の講師を務めるなど、常に行政や職能団体、地域との連携を意識した活動に徹した。 母性看護実習の積極的な受け入れや看護師等養成機関に勤務するなど看護教育の推進に寄与した。 平成18年から令和元年まで、宮崎県看護協会のまちの保健室の協力員として運営に関わり、地区活動に尽力した。 令和2年4月から令和3年4月まで、NPO法人「ゆめの木」及び延岡市子育て支援総合拠点施設「えんキッズ」にて育児相談員としてボランティア活動を行う等幅広く活動し、その功績は大きい。
6	みづなが とよこ 水永 豊子	66歳	45年0月 (21年6月)	社会医療法人泉和会 千代田病院 (日向市)	昭和55年に宮崎大学医学部附属病院に入職し、同院の副看護部長を務め、平成29年3月に退職した。同院退職後は社会医療法人泉和会千代田病院に看護部長として現在まで勤務し、人材育成や業務改善に尽力している。 宮崎県看護協会が行っている看護の質向上に関する活動において、学会委員や認定看護管理者教育運営委員や講師を長年務め、県内の看護職の質向上に貢献した。 また、令和3年度から令和4年度まで宮崎県看護協会日向・東臼杵地区理事として、令和5年度は日向市東臼杵郡医師会の日向市東臼杵郡看護管理部会部会長として地域の看護職のネットワークや地区活動に尽力し、その功績は大きい。

令和7年度「看護の日」記念宮崎県知事被表彰者一覧

(医療政策課)

連番	被表彰者	年齢	勤務年数 通 算 (民間)	勤務場所 (勤務場所住所)	功 績 (要 約)
7	さかした かずよ 坂下 和代	54歳	33年7月 (31年1月)	医療法人伸和会 介護老人保健施設 東海園 (延岡市)	県立延岡病院、延岡共立病院看護主任等を経て、平成20年4月より介護老人保健施設東海園で看護師長として開設にあたり、平成29年5月からは看護師部長として、看護介護部の統括、施設・居宅サービスの質の向上に尽力している。 また、介護支援専門員、認知症ケア専門士・介護老人保健施設リスクマネージャー等の資格を活かし、在宅復帰・在宅生活支援・認知症ケア・感染対策・職員教育を行い、サービス向上につながっている。 さらに介護ロボット・ICT等のテクノロジーを導入し、介護現場における生産性の向上の推進、業務の効率化、看護介護の質の向上に尽力した。 地域活動としては、宮崎県老人保健施設協会の看護介護研究部会委員長・総務委員を務め、研修企画、会員の連携等の活動を充実させるなど、職員の資質向上に貢献し、長年にわたる地域医療・介護活動の実績と貢献によりその功績は大きい。